

山形教区報

発行 天理教山形教務支庁 〒994-0027 天童市桜町11番1号
TEL 023-656-8420 FAX 023-656-8425
編集 広報部 E-mail y_kohobu@yahoo.co.jp

立教188年

7月号

第168号

布教推進講習会開催

6月29日、教務支庁を会場に「布教推進講習会」が開催された。この講習会は、教祖百四十年祭年祭活動仕上げの年である本年、一人ひとりの布教意欲を高める取り組みとして、布教部が提唱し、直属教会や教区において開催されている。

当日は管内各地より教会長、ようぼく・信者ら35名が参集。中森芳郎教区長の開講挨拶の後、講師としてお招きした前福島教区長・平澤勇一先生（磐城平大教会前会長）よりご講話を頂いた。

先生は始めに、親神様は「世界一れつをたすけるために天降った」と仰せられ、その世界たすけの道筋、設計図として著されたのが「おふでさき」であると指摘。そして、「おふでさき」に示されるたすけの有り様は、一、おつとめを勤めてたすけること、一、話一条（元初まりのお話、かしものかりもの、十全の守護、八つのほこり）でたすけること、一、心を入れ替えること（神にもたれる心になること、陽気づくめの心になること、人をたすける心になること）であり、「私達はこうしたことを伝え弘めることで世界をたすける、つまり布教することを求められている」と話された。

また、教祖伝や逸話篇をひもとかれ、教祖が当時の信仰者へ諭されたお言葉から、布教の要点として、「天理王命」の神名や神様のお働きを

伝えると共に、自分がたすけられた喜びを人に真剣に伝えることの大切さに触れた。

最後に、布教に臨む者の心の持ち方として、おさしづから、「どんな処ににいをい掛かるも、神が働くから掛かる」（明治26・7・12）

とのお言葉を引いて、「神様に働いて頂くためには、日々はしっかりおつとめを勤めることが大切。おつとめから離れた布教伝道はない」と結ばれた。

続く質疑応答では、布教実働への意欲を高め、持続させるための秘訣、御用に向き合う上での心の持ち方などの質問に、ご自身の体験談などを交えながら丁寧にお答え頂いた。

また、プログラム終了後には、スタッフ手作りのちらし寿司が振る舞われ、参加者達はこれからの布教実働への思いを語り合いながら、笑顔で会食する姿が見られた。



第 4 回ようばく一斉活動日

中央支部

6 月 1 日、教務支庁を会場に、これまで最多の 73 名の方々が参加下さいました。

今回の自主プログラムのテーマは「おさづけの理を学ぶ」でした。この日のために用意された参考資料は、三原典や教典、教祖伝などの諸文献、更には真柱様のご講話など、実に様々な資料に丁寧当たって作成され、「病(やまい)」「医者、薬」「たすけ」などの項目毎に、それぞれに込められたご神意、あるいはお道の救済観といった、おさづけの理を取り巻く諸相が体系付けてまとめられた独自のテキストでした。

参加者からは、「初めて聞かせて頂く話ばかりで、大変勉強になった」「今日学んだことを活かして、実際に一回でも多くおさづけの理を取り次げるようになりたい」などの声が聞かれました。

藤原隆宏・
中央支部道友社
社友



米沢支部

置賜分教会を会場に、29 名の方が参加して下さいました。



自主プログラムは「おさづけの取り次ぎ」でした。冒頭におさづけの理拝戴時に頂く「仮席の栞」をテキストにして、取り次ぎ時の心構え、取り次ぎ方、留意すべき点などを復習し、その後隣合う方と組になり、実際にお取り次ぎを行いました。

参加者の中には、拝戴以来初めての取り次ぐという方や、十数年ぶりに取り次ぐという方もおられ、しばしの間会場はお取り次ぎの声で溢れました。その後、河原町大教会初代会長・深谷源次郎先生のご生涯を題材とした「けっこう源さん」の DVD を鑑賞し、帰りにはお土産のお菓子を頂き、全員笑顔で解散となりました。

諸橋正史・米沢支部社友

置賜支部

赤湯分教会を会場に、30 名の方々が参加して下さいました。

自主プログラムは、「おさづけの理」をテーマとして、道友社刊『はじめてシリーズ1 おさづけの理』から抜粋した資料を配り、それを基に武者眞・赤湯分教会長より取次ぎ方などのお話がありました。その後、数人ずつの班に分かれて、おさづけの取り次ぎ合いを行いました。およそ 30 分間にわたり会場全体が祈りの声に満ち溢れ、深々と頭を垂れて添い願う姿が見られました。参加者の中には、おさづけの理を拝戴して以来、取り次ぐのは今回が初めてという方もいて、大変有意義だったという声が数多く聞かれました。



武者 眞・
置賜支部
社友代理

鶴岡田川支部

6月1日、

荘内分教会に少年会員も含めて30名の
方々が参集しました。

自主プログラムでは、各自車で湯野浜
海岸に移動して、周辺のゴミ拾いひのき
しんをさせて頂きました。心配していた
雨も降ることなく、合計で20袋程度のゴミ
が集まりました。プラスチックのゴミ
が多かったのですが、どうしても砂が混
じってしまったため、かなりの重さになり
ました。海岸の範囲が広くて切りがな
かったため、ある程度集まったところで



終わりにしま
した。

ひのきしん
終了後には恒
例の抽選会が
行われ、楽し
いひと時を過
ごさせて頂き
ました。

鈴木伸次・
鶴岡田川
支部社友

酒田飽海支部

5月31日、

飽海分教会を会
場に19名の方々
にご参加頂きま
した。



自主プログラ
ムは、教祖六十
年祭から百三十
年祭まで、親里
の情景や国々
所々で行われた
DVDを視聴しました。

その後、前支部長・廣瀬道宏先生が、「年
祭についての思い出」と題してお話し下
さいました。信仰初代となる先生のお母
様やご家族のご苦労の様子、またそれま
で信仰を認めなかったお父様が、年祭を
きっかけに熱心に教会へ日参されるよう
になるといふ、聞く者の胸が熱くなるよう
な内容でした。ある参加者は「お話を
聞かせて頂いて、改めて天理教に出会え
て良かった」と、涙ながらに感謝の言葉
を語ってくれました。

牧野啓道・酒田市分教会長

中央西支部

6月1日、左

澤分教会において開催しました。

自主プログラムは前回に引き続き、お
さづけの取り次ぎ合いを行いました。取
り次ぐのが久しぶりの方には若干の説明
をし、不安な点は確認をしながら、15名
の参加者の方々は熱心に取り組んで下さ
り、大変有意義な時間となりました。

その後、支部内にある特別養護老人
ホーム「明鏡荘」にお届けする、新聞紙
を活用したゴミ箱作成を行いました。こ
れは活動日毎に取り組んでいるひのきし
んで、慣れるに連れて作業しながらの話
も弾み、和やかな雰囲気が進められ、前
回作成した枚数よりも多くの数を完成さ
せることが出来
ました。出来上
がったゴミ箱
は、後日同ホー
ムにお届けし、
大変喜んで頂き
ました。



藤野徹・
中央西支部
社友

女子青年例会 in 酒田



教区女子青年（佐藤美希委員長）では、5月18日に例会を開催し、宮海海水浴場（酒田市）にて、海岸のゴミ拾いひのきしんを行いました。女子青年の例会は教務支庁で行うことが多く、庄内や置賜方面など、遠方から毎回参加することが難しい状況があります。そのため今回は酒田市での移動例会を実施しました。

数日前から雨の心配をしていたのですが、当時は強い日差しと海沿い特有の強い風が吹く中、各自ゴミ袋を片手に、砂浜に散在するたくさんさんのゴミを拾い集めました。

現地までは車に乗り合わせての移動となりましたが、道中の車内では様々な意見・

情報交換をすることが出来、会

員も担当者も充実した一日を過ごすことが出来ました。

参加者は女子青年 4 名、担当者 4 名の計 8 名でした。

報告者
後藤隆子・
婦人会女子
青年担当者

中央西支部 ひのきしんデー

中央西支部では、5月6日、特別養護老人ホーム「明鏡荘」（朝日町）において、午前9時から11時までの2時間、同施設のグラウンド、および駐車場周辺の除草ひのきしんを行いました。

4月29日の全教一斉ひのきしんデー当日に予定されていた、支部内の別の福祉施設でのひのきしんが雨天中止となったこともあり、参加者はこの日を待ちわびるようにして会場に寄り集い、曇り空の中終了間際まで、刈払い機3



台も交えて、熱心につとめさせて頂きました。参加者は14名でした。

報告者
藤野徹・
支部社友

教務支庁日誌

5月		6月	
2日	主事会 教区例会 婦人会例会 災救隊例会	1日	中央支部ようばく一斉活動日
6日	中央支部例会 中央支部婦人会例会	2日	主事会 地方委員会 教区例会 婦人会例会
		6日	災救隊例会 学担委員会例会 中央支部例会 中央支部婦人会例会
22日	女子青年例会	28日	布教推進講習会前日準備
29日	布教推進講習会		
31日	中央支部ようばく一斉活動日 前日準備		
18日	女子青年、例会のため酒田へ （同日帰庁）		